

10 法 面 工

10-04 筋 工

10-04-200 丸太筋工

10-04-210 丸太筋工（1本使い）

表4.2 丸太筋工（1本使い）施工歩掛

杭間隔 0.7m (10m当たり)

名 称	規 格 等	単 位	数 量
丸 太	横丸太 L=1.8m D=9cm 1.8m×0.09 <sup>2</sup> m×(10.0m÷1.8m)×1.05	m <sup>3</sup>	0.09
〃	止 杭 L=0.7m D=8cm 0.7m×0.08 <sup>2</sup> m×(10.0m÷0.7m)×1.05	〃	0.07
粗 朶	L=2.0m D=1cm以上 現場条件等に応じて、必要量を計上する。	束	必要量
鉄 線	結束用 10# 1.2m/箇所×14.3箇所×63.1g/m	kg	1.08
<u>丸太皮剥加工</u>	<u>{1.8m×(10.0m÷1.8m)+0.7m×(10.0m÷0.7m)} ×1.05</u>	<u>m</u>	<u>21.00</u>
普通作業員	杭打(根入率70%以下) 0.03人/本×14.3本×0.7	人	0.30
〃	丸太ねせ込 0.06人/本×(10.0m÷1.8m×1本)	〃	0.33
〃	鉄線結束 0.15人/10箇所×(10.0m÷0.7m)	〃	0.21
土砂切取	必要に応じて計上する。	m <sup>3</sup>	
土砂埋戻し	〃	〃	
計			

- 備考1 本表には、20m程度の材料小運搬を含む。  
 2 材料のロス（端材等）は、5%を標準とする。  
 3 杭間隔・丸太規格等が異なる場合は、別途積算する。  
 4 送り止め杭が必要な場合は、別途計上する。  
 5 作業条件による歩掛の補正は、原則として次表による。

補正=イ+ロ

補正率 作業条件		+10%	0	-10%
		イ 法 勾 配	35° 以上	35° 未満
ロ 作業延長	—	50m未満	50m以上	

- 6 粗朶は、現場条件等に応じて必要量を計上する。  
~~7 止杭については、素材を取り扱うこととし、皮剥加工は別途計上するものとする。~~  
~~8.7 丸太の先削り加工は、人力杭打ちに含む。~~

10-04-211 丸太筋工送り止め（1本使い）

表4.3 丸太筋工送り止め（1本使い）施工歩掛

(10箇所当たり)

名称	規格等	単位	数量
丸太	止杭 L=0.7m D=8cm 0.7m×0.08 <sup>2</sup> m×10.0箇所×1.05	m <sup>3</sup>	0.05
鉄線	結束用 10# 1.2m/箇所×10箇所×63.1g/m	kg	0.76
<u>丸太皮剥加工</u>	<u>0.7m×10.0箇所×1.05</u>	<u>m</u>	<u>7.35</u>
普通作業員	杭打（根入率70%以下）0.03人/本×10本×0.7	人	0.21
〃	鉄線結束 0.15人/本×10箇所×10箇所	〃	0.15
計			

備考1 本表には、20m程度の材料小運搬を含む。

2 材料のロス（端材等）は、5%を標準とする。

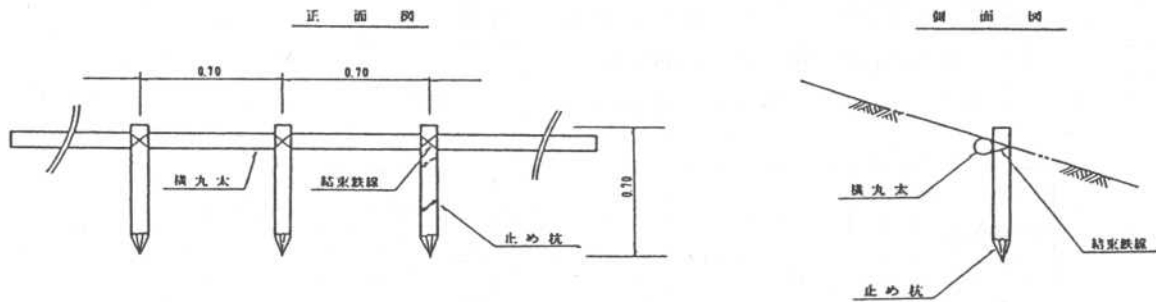
3 作業条件による歩掛の補正は、本体に準ずる。

~~4 止杭については、素材を取り扱うこととし、皮剥加工は別途計上するものとする。~~

~~5.4~~ 丸太の先削り加工は、人力杭打ちに含む。

筋工

丸太1本使い



10-04-220 丸太筋工（2本使い）

表4.4 丸太筋工（2本使い）施工歩掛

(10m当たり)

名称	規格等	単位	数量
丸太	横丸太 L=1.8m D=9cm 1.8m×0.09 <sup>2</sup> m×(10.0m÷1.8m)×2本×1.05	m <sup>3</sup>	0.17
〃	止杭 L=0.7m D=8cm 0.7m×0.08 <sup>2</sup> m×(10.0m÷0.7m)×1.05	〃	0.07
粗朶	L=2.0m D=1cm以上 現場条件等に応じて、必要量を計上する。	束	必要量
鉄線	結束用 10# 1.2m/箇所×14.3箇所×2×63.1g/m	kg	2.16
<u>丸太皮剥加工</u>	<u>{1.8m×(10.0m÷1.8m)×2 + 0.7m×(10.0m÷0.7m)} × 1.05</u>	<u>m</u>	<u>31.50</u>
普通作業員	杭打（根入率70%以下）0.03人/本×14.3本×0.7	人	0.30
〃	丸太ねせ込 0.06人/本×(10.0m÷1.8m×2本)	〃	0.67
〃	鉄線結束 0.15人/10箇所×(10.0m÷0.7m)×2段	〃	0.43
土砂切取	必要に応じて計上する。	m <sup>3</sup>	
土砂埋戻し	〃	〃	
計			

備考1 本表には、20m程度の材料小運搬を含む。

2 材料のロス（端材等）は、5%を標準とする。

3 杭間隔・丸太規格等が異なる場合は、別途積算する。

- 4 送り止め杭が必要な場合は、別途計上する。
- 5 作業条件による歩掛の補正は、原則として次表による。
- ~~6 止杭については、素材を取り扱うこととし、皮剥加工は別途計上するものとする。~~

補正=イ+ロ

作業条件		補正率		
		+10%	0	-10%
イ	法勾配	35° 以上	35° 未満	—
ロ	作業延長	—	50m未満	50m以上

- ~~7~~ 粗朶は、現場条件等に応じて必要量を計上する。
- ~~8~~ 丸太の先削り加工は、人力杭打ちに含む。

10-04-221 丸太筋工送り止め（2本使い）

表4.5 丸太筋工送り止め（2本使い）施工歩掛

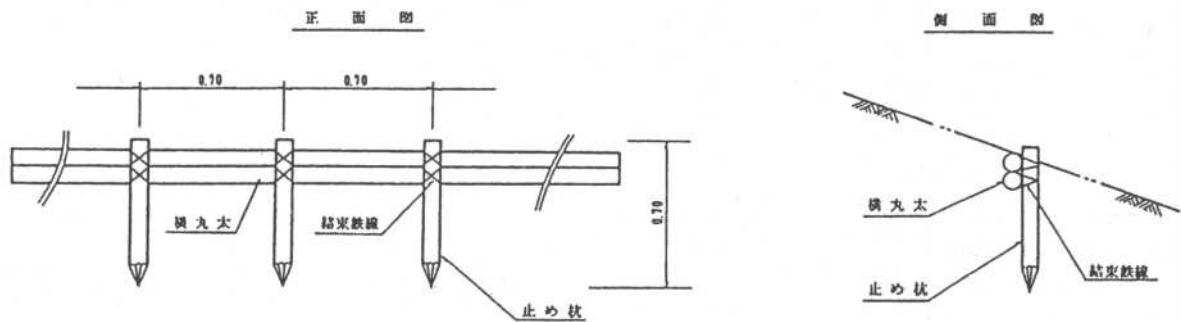
(10箇所当たり)

名称	規格等	単位	数量
丸太	止杭 L=0.7m D=8cm 0.7m×0.08 <sup>2</sup> m×10.0箇所×1.05	m <sup>3</sup>	0.05
鉄線	結束用 10# 1.2m/箇所×10箇所×63.1g/m×2段	kg	1.51
<del>丸太皮剥加工</del>	<del>0.7m×10.0箇所×1.05</del>	<del>m</del>	<del>7.35</del>
普通作業員	杭打（根入率70%以下）0.03人/本×10本×0.7	人	0.21
〃	鉄線結束 0.15人/本×10箇所×10箇所×2段	〃	0.30
計			

- 備考1 本表には、20m程度の材料小運搬を含む。
- 2 材料のロス（端材等）は、5%を標準とする。
  - 3 作業条件による歩掛の補正は、本体に準ずる。
  - ~~4 止杭については、素材を取り扱うこととし、皮剥加工は別途計上するものとする。~~
  - ~~5~~ 丸太の先削り加工は、人力杭打ちに含む。

筋工

丸太2本使い



## 10-04-230 省力型丸太筋工

表4.6 省力型丸太筋工施工歩掛

(10m当たり)

名 称	規 格 等	単 位	数 量
素 材 丸 太	L=1.2m D=10cm 1.2m×0.10 <sup>2</sup> m×(10.0m÷1.4m)×4本	m <sup>3</sup>	0.34
普 通 ボ ル ト	L=22cm D=13mm (10.0m÷1.4m)×3本×0.43kg/ケ	kg	9.21
結 束 鉄 線	結束用 10# 3.2mm 2.4m/箇所×(10.0m÷1.4m)×2×63.1g/m	〃	2.16
<b>丸太皮剥加工</b>	<b>1.2m×(10.0箇所÷1.4m)×4</b>	<b>m</b>	<b>34.29</b>
普 通 作 業 員	部材加工(切り揃え・穿孔) 0.08人+0.14人=0.22人/10m	人	0.22
〃	部材加工(横丸太取付・腕木組立) 0.08人+0.09人=0.17人/10m	〃	0.17
〃	鉄線結束	〃	0.12
〃	敷設・小運搬 0.13人/10m	〃	0.13
計			

備考1 本表には、20m程度の小運搬を含む。

2 丸太規格等が異なる場合は、別途積算する。

3 部材を製品(見積り)とする場合は、部材加工費(切り揃え・穿孔)を計上しない。

4 土砂切取、埋戻しを別途計上しない場合は、床拵え(0.43人/10m)を加算する。

## 10-04-240 改良型丸太筋工

表4.7 改良型丸太筋工施工歩掛

(10m当たり)

名 称	規 格 等	単 位	数 量
素 材 丸 太	L=1.2m D=10cm 1.2m×0.10 <sup>2</sup> m×(10.0m÷1.4m)×4本	m <sup>3</sup>	0.34
縦 丸 太	L=1.2m D=10cm 1.2m×0.10 <sup>2</sup> m×(10.0m÷1.4m)×2本	〃	0.17
普 通 ボ ル ト	L=22cm D=13mm (10.0m÷1.4m)×5本×0.43kg/ケ	kg	15.36
結 束 鉄 線	結束用 10# 3.2mm 2.4m/箇所×(10.0m÷1.4m)×2×63.1g/m	〃	2.16
<b>丸太皮剥加工</b>	<b>1.2m×(10.0箇所÷1.4m)×4 + 1.2m×(10.0箇所÷1.4m)×2</b>	<b>m</b>	<b>51.43</b>
普 通 作 業 員	部材加工(切り揃え・穿孔) 0.12人+0.21人=0.33人/10m	人	0.33
〃	部材加工(横丸太取付・腕木組立・縦丸太取付) 0.08人+0.09人+0.10人=0.27人/10m	〃	0.27
〃	鉄線結束	〃	0.12
〃	敷設・小運搬 0.27人/10m	〃	0.27
計			

備考1 本表には、20m程度の小運搬を含む。

2 丸太規格等が異なる場合は、別途積算する。

3 部材を製品(見積り)とする場合は、部材加工費(切り揃え・穿孔)を計上しない。

4 土砂切取、埋戻しを別途計上しない場合は、床拵え(0.43人/10m)を加算する。

10-09 柵 工

10-09-100 丸太柵工

10-09-110 丸太柵工（横使い）

杭間隔0.5m 柵高0.5m 杭長1.2m

表9.1 丸太柵工（横使い）施工歩掛

(10m当たり)

名 称	規 格 等	単 位	数 量
丸 太	立丸太 L=1.2m D=8cm 1.2m×0.08 <sup>2</sup> m×20本×1.05	m <sup>3</sup>	0.16
〃	横丸太 L=1.8m D=9cm 1.8m×0.09 <sup>2</sup> m×27.8本×1.05	〃	0.43
粗 朶	L=50cm D=1cm以上 2mものを4等分して使用する	束	1.80
鉄 釘	4段×20本×23.8kg/1,000本	kg	1.90
鉄 線	結束用 10# 1.2m/箇所×20箇所×63.1g/m	kg	1.51
<b>丸太皮剥加工</b>	<b>(1.2m×20本+1.8m×27.8本)×1.05</b>	<b>m</b>	<b>77.74</b>
普通作業員	杭打（根入率70%以下）0.06人/本×20本×0.7	人	0.84
〃	横丸太ねせ込 0.06人/本×27.8本	〃	1.67
〃	鉄線結束 0.15人/10箇所×20箇所	〃	0.30
〃	鉄釘打込 0.07人/10箇所×20箇所×4段	〃	0.56
〃	粗朶立込 0.05人/束×1.80束	〃	0.09
土砂切取	必要に応じて計上する。	m <sup>3</sup>	
土砂埋戻し	〃	〃	
計			

- 備考1 本表には、20m程度の小運搬を含む。  
 2 材料のロス（端材等）は、5%を標準とする。  
 3 杭間隔・柵高・丸太規格等が異なる場合は、別途積算する。  
 4 送り止め杭が必要な場合は、別途計上する。  
 5 作業条件による歩掛の補正は、原則として次表による。

補正=イ+ロ

補正率 作業条件		+10%	0	-10%
		イ 法勾配	35°以上	35°未満
ロ 作業延長 (箇所当り)		10m未満	10~30m	30m以上

- 6 粗朶は、必要に応じて計上する。  
 7 横丸太にパネル丸太を用いる場合は、ねせ込み手間を本表の0.5掛とする。  
~~8 立丸太については、素材を取り扱うこととし、皮剥加工は別途計上するものとする。~~  
~~9.8~~ 丸太の先削り加工は、人力杭打ちに含む。

表9.2 送り止め (横使い) 施工歩掛

(10箇所当たり)

名 称	規 格 等	単 位	数 量
丸 太	立丸太 L=1.2m D=8cm 1.2m×0.08 <sup>2</sup> m×10箇所×1.05	m <sup>3</sup>	0.08
鉄 釘	L=15.2cm 4段×10箇所×23.8kg/1,000本	kg	0.95
鉄 線	結束用 10# 1.2m/箇所×1箇所×10本×63.1g/m	"	0.76
<del>丸太皮剥加工</del>	<del>1.2m×10箇所×1.05</del>	<del>m</del>	<del>12.60</del>
普通作業員	杭打 (根入率70%以下) 0.06人/本×10本×0.7	人	0.42
"	鉄線結束 0.15人/10箇所×1箇所×10本	"	0.15
"	鉄釘打込 0.07人/10箇所×4箇所×10本	"	0.28
計			

備考1 本表には、20m程度の小運搬を含む。

2 材料のロス (端材等) は、5%を標準とする。

3 本表は、鉄線・鉄釘を併用する場合であり、現場条件等により異なる場合は別途積算する。

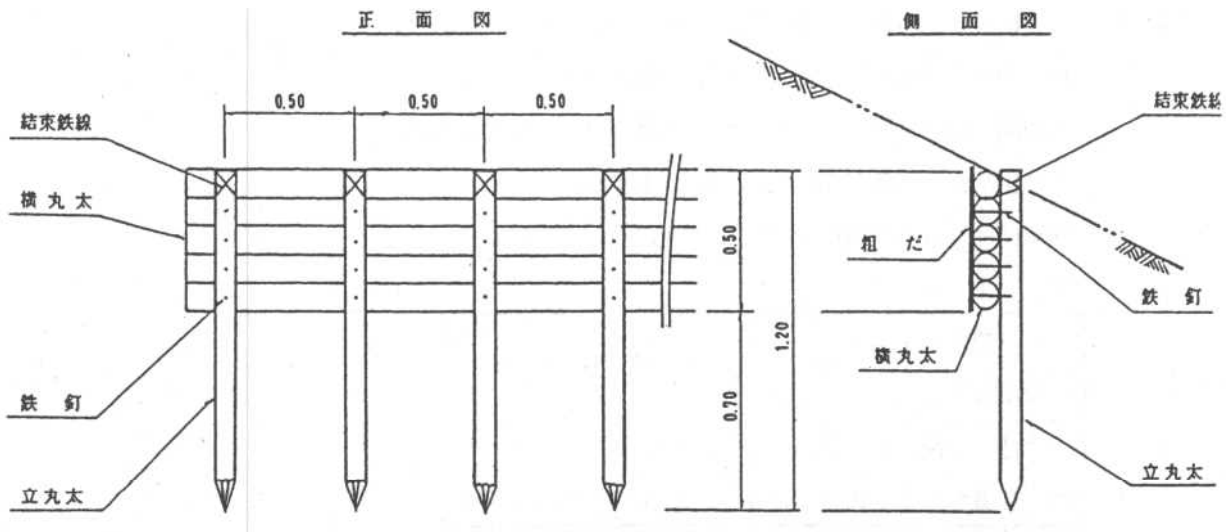
4 作業条件による歩掛の補正は、10-09-110の備考5による。

~~5 立丸太については、素材を取り扱うこととし、皮剥加工は別途計上するものとする。~~

~~6-5~~ 丸太の先削り加工は、人力杭打ちに含む。

柵工標準図 (H=0.5m)

丸太横使い



10-09-120 丸太柵工（横使い）

杭間隔0.5m 柵高0.5m 杭長1.8m

表9.3 丸太柵工（横使い）施工歩掛

(10m当たり)

名 称	規 格 等	単 位	数 量
丸 太	立丸太 L=1.8m D=9cm 1.8m×0.09 <sup>2</sup> m×20本×1.05	m <sup>3</sup>	0.31
〃	横丸太 L=1.8m D=9cm 1.8m×0.09 <sup>2</sup> m×27.8本×1.05	〃	0.43
粗 朶	L=50cm D=1cm以上 2mものを4等分して使用する	束	1.80
鉄 釘	4段×20本×23.8kg/1,000本	kg	1.90
鉄 線	結束用 10# 1.2m/箇所×20箇所×63.1g/m	〃	1.51
<del>丸太皮剥加工</del>	<del>(1.8m×20本+1.8m×27.8本)×1.05</del>	<del>m</del>	<del>90.34</del>
普通作業員	杭打（根入率70~80%）0.12人/本×20本×0.8	人	1.92
〃	横丸太ねせ込 0.06人/本×27.8本	〃	1.67
〃	鉄線結束 0.15人/10箇所×20箇所	〃	0.30
〃	鉄釘打込 0.07人/10箇所×20箇所×4段	〃	0.56
〃	粗朶立込 0.05人/束×1.80束	〃	0.09
土砂切取	必要に応じて計上する。	m <sup>3</sup>	
土砂埋戻し	〃	〃	
計			

備考1 本表には、20m程度の小運搬を含む。

- 2 材料のロス（端材等）は、5%を標準とする。
- 3 杭間隔・柵高・丸太規格等が異なる場合は、別途積算する。
- 4 送り止め杭が必要な場合は、別途計上する。
- 5 作業条件による歩掛の補正は、原則として次表による。

補正=イ+ロ

作業条件		補正率		
		+10%	0	-10%
イ	法勾配	35°以上	35°未満	-
ロ	作業延長 (箇所当り)	10m未満	10~30m	30m以上

- 6 粗朶は、必要に応じて計上する。
- 7 横丸太にパネル丸太を用いる場合は、ねせ込み手間を本表の0.5掛とする。
- ~~8 立丸太については、素材を取り扱うこととし、皮剥加工は別途計上するものとする。~~
- ~~9.8~~ 丸太の先削り加工は、人力杭打ちに含む。

表9.4 送り止め（横使い）施工歩掛

(10箇所当たり)

名 称	規 格 等	単 位	数 量
丸 太	立丸太 L=1.8m D=9cm 1.8m×0.09 <sup>2</sup> m×10箇所×1.05	m <sup>3</sup>	0.15
鉄 釘	L=15.2cm 4段×10箇所×23.8kg/1,000本	kg	0.95
鉄 線	結束用 10# 1.2m/箇所×1箇所×10本×63.1g/m	〃	0.76
<del>丸太皮剥加工</del>	<del>1.8m×10箇所×1.05</del>	<del>m</del>	<del>18.90</del>
普通作業員	杭打（根入率70～80%）0.12人/本×10本×0.8	人	0.96
〃	鉄線結束 0.15人/10箇所×1箇所×10本	〃	0.15
〃	鉄釘打込 0.07人/10箇所×4箇所×10本	〃	0.28
計			

備考1 本表には、20m程度の小運搬を含む。

2 材料のロス（端材等）は、5%を標準とする。

3 本表は、鉄線・鉄釘を併用する場合であり、現場条件等により異なる場合は別途積算する。

4 作業条件による歩掛の補正は、10-09-120の備考5による。

~~5 立丸太については、素材を取り扱うこととし、皮剥加工は別途計上するものとする。~~~~6-5~~ 丸太の先削り加工は、人力杭打ちに含む。



10-09-130 丸太柵工（立使い）

杭間隔0.5m 柵高1.2m 杭長1.8m

表9.5 丸太柵工（立使い）施工歩掛

(10m当たり)

名 称	規 格 等	単 位	数 量
丸 太	立丸太 L=1.8m D=9cm 1.8m×0.09 <sup>2</sup> m×20本×1.05	m <sup>3</sup>	0.31
〃	立丸太 L=1.2m D=8cm 1.2m×0.08 <sup>2</sup> m×125本×0.9×1.05	〃	0.91
〃	横丸太 L=1.8m D=9cm 1.8m×0.09 <sup>2</sup> m×11.1本×1.05	〃	0.17
粗 朶	L=50cm D=1cm以上 2mものを4等分して使用する	束	1.80
鉄 釘	125本×0.9×23.8kg/1,000本	kg	2.68
鉄 線	結束用 10# 1.2m/箇所×20箇所×63.1g/m×2段	〃	3.03
<b>丸太皮剥加工</b>	<b><u>(1.8m×20本+1.2m×125本×0.9+1.8m×11.1本)×1.05</u></b>	<b>m<sup>3</sup></b>	<b><u>200.53</u></b>
普通作業員	杭打（根入率70～80%）0.12人/本×20本×0.7	人	1.68
〃	横丸太取付 0.06人/本×11.1本	〃	0.67
〃	立丸太立込み 0.01人/本×112.5本	〃	1.13
〃	鉄線結束 0.15人/10箇所×20箇所×2段	〃	0.60
〃	鉄釘打込 0.07人/10箇所×112.5箇所	〃	0.79
〃	粗朶立込 0.05人/束×1.80束	〃	0.09
土砂切取	必要に応じて計上する。	m <sup>3</sup>	
土砂埋戻し	〃	〃	
計			

備考1 本表には、20m程度の小運搬を含む。

- 2 材料のロス（端材等）は、5%を標準とする。
- 3 杭間隔・柵高・丸太規格等が異なる場合は、別途積算する。
- 4 送り止め杭が必要な場合は、別途計上する。
- 5 作業条件による歩掛の補正は、原則として次表による。

補正=イ+ロ

作業条件		補正率		
		+10%	0	-10%
イ	法勾配	35°以上	35°未満	—
ロ	作業延長 (箇所当り)	10m未満	10～30m	30m以上

- 6 粗朶は、必要に応じて計上する。
- 7 立丸太にパネル丸太を用いる場合は、立込み手間を本表の0.5掛とする。
- ~~8 立丸太については、素材を取り扱うこととし、皮剥加工は別途計上するものとする。~~
- ~~9 丸太の先削り加工は、人力杭打ちに含む。~~

表9.6 送り止め（立使い）施工歩掛

(10箇所当たり)

名 称	規 格 等	単 位	数 量
丸 太	立丸太 L=1.8m D=9cm 1.8m×0.09 <sup>2</sup> m×10箇所×1.05	m <sup>3</sup>	0.15
鉄 釘	L=15.2cm 1段×10箇所×23.8kg/1,000本	kg	0.24
鉄 線	結束用 10# 1.2m/箇所×2箇所×10本×63.1g/m	〃	1.51
<del>丸太皮剥加工</del>	<del>1.8m×10箇所×1.05</del>	<del>m</del>	<del>18.90</del>
普通作業員	杭打（根入率70%以下）0.12人/本×10本×0.7	人	0.84
〃	鉄線結束 0.15人/10箇所×2箇所×10本	〃	0.30
〃	鉄釘打込 0.07人/10箇所×1箇所×10本	〃	0.07
計			

備考1 本表には、20m程度の小運搬を含む。

2 材料のロス（端材等）は、5%を標準とする。

3 本表は、鉄線・鉄釘を併用する場合であり、現場条件等により異なる場合は別途積算する。

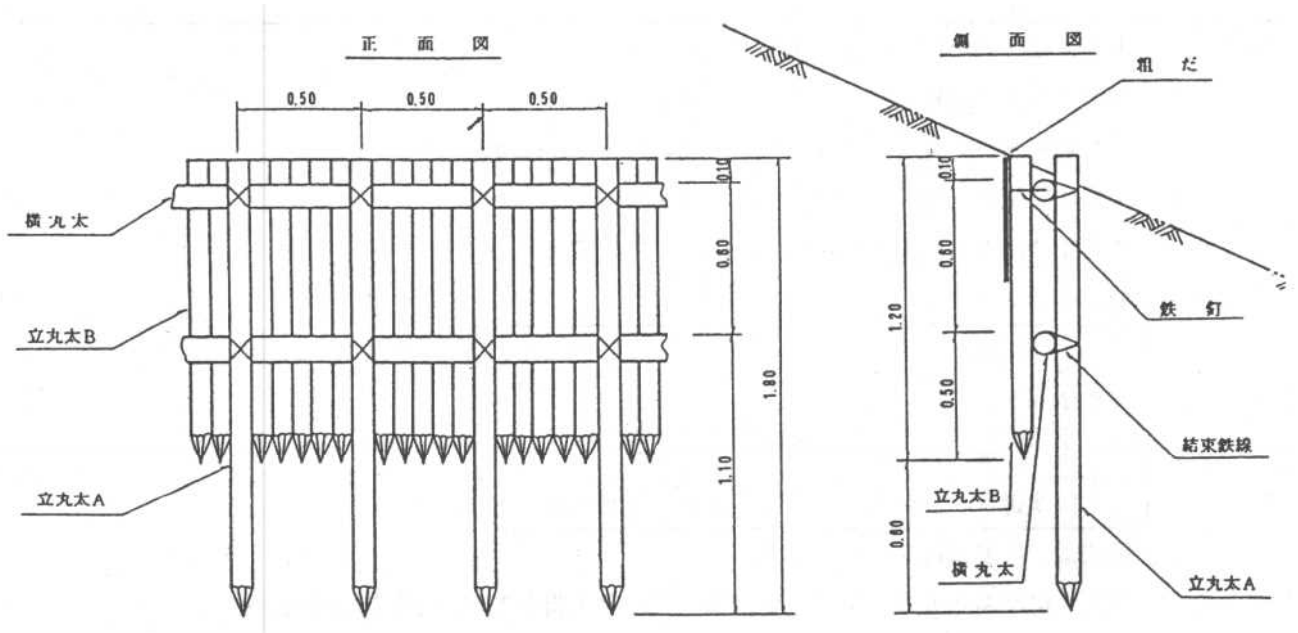
4 作業条件による歩掛の補正は、10-09-130の備考5による。

~~5 立丸太については、素材を取り扱うこととし、皮剥加工は別途計上するものとする。~~

~~6-5~~ 丸太の先削り加工は、人力杭打ちに含む。

柵工標準図（H=1.2m）

丸太横使い



10-09-140 丸太柵工（防風柵兼用）

杭間隔0.5m 柵高（防風柵0.5m、土中部0.3m） 杭長1.8m

表9.7 丸太柵工（防風柵兼用）施工歩掛

(10m当たり)

名 称	規 格 等	単 位	数 量
丸 太	立丸太 L=1.8m D=9cm 1.8m×0.09 <sup>2</sup> m×20本×1.05	m <sup>3</sup>	0.31
〃	横丸太 L= <del>1.8</del> 2.1.8m D= <del>9</del> 9cm <del>1.8</del> 2.1.8m×0.08 <sup>2</sup> 0.09 <sup>2</sup> m×16.7本×1.05	〃	0.26
〃	半割丸太 L=1.8m D=9cm 1.8m×0.09 <sup>2</sup> m×16.7本×1/2×1.05	〃	0.13
粗 朶	L=33cm D=1cm以上 2mものを6等分して使用する	束	1.20
鉄 釘	L=15.2cm 3段×20本×23.8kg/1,000本 L=10.2cm 3段×20本×10.75kg/1,000本	kg	1.86
鉄 線	結束用 10# 1.2m/箇所×20箇所×63.1g/m	〃	1.51
<b>丸太皮剥加工</b>	<b>(1.8m×20本+1.8m×16.7本)×1.05</b>	<b>m</b>	<b>69.36</b>
普通作業員	杭打（根入率70%以下）0.12人/本×20本×0.7	人	1.68
〃	横丸太ねせ込み 0.06人/本×33.4本	〃	2.00
〃	鉄線結束 0.15人/10箇所×20箇所	〃	0.30
〃	鉄釘打込 0.07人/10箇所×100箇所	〃	0.70
〃	粗朶建込 0.05人/束×1.20束	〃	0.06
土砂切取	必要に応じて計上する。	m <sup>3</sup>	
土砂埋戻し	〃	〃	
計			

備考1 本表には、20m程度の小運搬を含む。

- 2 材料のロス（端材等）は、5%を標準とする。
- 3 杭間隔・柵高・丸太規格等が異なる場合は、別途積算する。
- 4 送り止め杭が必要な場合は、別途計上する。
- 5 作業条件による歩掛の補正は、原則として次表による。

補正=イ+ロ

補正率 作業条件		+10%	0	-10%
		イ 法 勾 配	35° 以上	35° 未満
ロ	作業延長 (作業条件)	10m未満	10~30m	30m以上

- 6 粗朶は、必要に応じて計上する。
- 7 横丸太にパネル丸太を用いる場合は、ねせ込み手間を本表の0.5掛とする。
- ~~8 立丸太については、素材を取り扱うこととし、皮剥加工は別途計上するものとする。~~
- ~~8~~ 丸太の先削り加工は、人力杭打ちに含む。
- 9 半割丸太は、資材費に皮剥加工の費用が含まれている。

表9.8 送り止め（防風柵兼用）施工歩掛

(10箇所当たり)

名 称	規 格 等	単 位	数 量
丸 太	立丸太 L=1.8m D=9cm 1.8m×0.09 <sup>2</sup> m×10箇所×1.05	m <sup>3</sup>	0.15
鉄 釘	L=15.2cm 3段×10本×23.8kg/1,000本 L=10.2cm 2段×10本×10.75kg/1,000本	kg	0.93
鉄 線	結束用 10# 1.2m/箇所×10箇所×63.1g/m	〃	0.76
<del>丸太皮剥加工</del>	<del>1.8m×10箇所×1.05</del>	<del>m</del>	<del>18.90</del>
普通作業員	杭打（根入率70%以下）0.12人/本×10本×0.7	人	0.84
〃	鉄線結束 0.15人/10箇所×10本	〃	0.15
〃	鉄釘打込 0.07人/10箇所×50箇所	〃	0.35
計			

備考1 本表には、20m程度の小運搬を含む。

2 材料のロス（端材等）は、5%を標準とする。

3 本表は、鉄線・鉄釘を併用する場合であり、現場条件等により異なる場合は別途積算する。

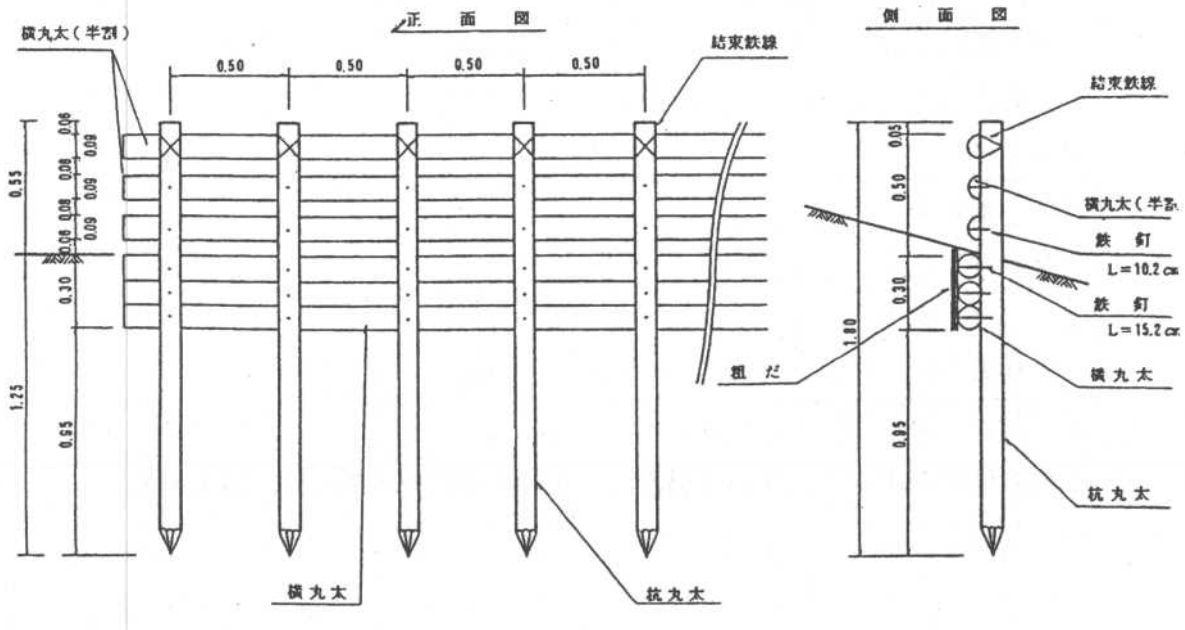
4 作業条件による歩掛の補正は、10-09-140の備考5による。

~~5 立丸太については、素材を取り扱うこととし、皮剥加工は別途計上するものとする。~~

~~6-5~~ 丸太の先削り加工は、人力杭打ちに含む。

柵工標準図

防風柵兼用



10-12-600 丸太法枠工

(1) 丸太法枠工 (縦2.0m×横2.0m、縁切り100m<sup>2</sup>)

表12.1 丸太法枠 (縦2.0m×横2.0m、縁切り100m<sup>2</sup>) 設置歩掛

(100m<sup>2</sup>当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量
丸 太	L=2.4m D=9cm 2.4m×0.09 <sup>2</sup> m×60.0本×1.05	m <sup>3</sup>	1.22
止 杭	L=0.9m D=9cm 0.9m×0.09 <sup>2</sup> m×36.0本×1.05	〃	0.28
鉄 線	結束用 10# 2.4m/箇所×36箇所×63.1g/m	kg	5.45
粗 朶	L=30cm D=1cm以上	束	5.00
枠内緑化	生芝等 必要量を計上	m <sup>2</sup>	
斜面整地	斜面凹凸均し	〃	100.00
<u>丸太皮剥加工</u>	<u>(2.4m×60本+0.9m×36本)×1.05</u>	<u>m</u>	<u>185.22</u>
世話役		人	0.50
普通作業員	丸太皮剥	〃	0.94
〃	杭打 0.06人/本×36本	〃	2.16
〃	挿木 0.30人/100本×1,000本	〃	3.00
〃	組手間	〃	6.00
計			

- 備考1 本表には、20m程度の小運搬を含む。  
 2 材料のロス(端材等)は、5%を標準とする。  
 3 作業条件による歩掛の補正は、原則として次表による。

補正=イ+ロ+ハ

補正率 作業条件		+10%	0	-10%
		イ 法 勾 配	35° 以上	35° 未満
ロ 斜 面 長	15mを超える場合	0~15m	-	
ハ 作 業 量	-	0~500m <sup>2</sup>	500m <sup>2</sup> を超える場合	

~~4 止杭については、素材を取り扱うこととし丸太の先削り、皮剥加工は別途計上するものとする。~~

4 止杭の先削り加工は、人力杭打ちに含む。

(2) 丸太法枠工 (縦2.0m×横4.0m、縁切り120m<sup>2</sup>)

表12.2 丸太法枠 (縦2.0m×横4.0m、縁切り120m<sup>2</sup>) 設置歩掛

(100m<sup>2</sup>当たり)

名 称	規 格	単 位	数 量
丸 太	L=2.4m D=9cm 2.4m×0.09 <sup>2</sup> m×46.7本×1.05	m <sup>3</sup>	0.95
止 杭	L=0.9m D=9cm 0.9m×0.09 <sup>2</sup> m×35.0本×1.05	〃	0.27
鉄 線	結束用 10# 2.4m/箇所×35箇所×63.1g/m	kg	5.30
粗 朶	L=30cm D=1cm以上	束	5.00
枠 内 緑 化	生芝等 必要量を計上	m <sup>2</sup>	
斜 面 整 地	斜面凹凸均し	〃	100.00
<del>丸太皮剥加工</del>	<del>(2.4m×46.7本+0.9m×35本)×1.05</del>	<del>m</del>	<del>150.76</del>
世 話 役		人	1.49
普 通 作 業 員	杭 打 0.06人/本×36本	〃	2.10
〃	挿 木 0.30人/100本×1,000本	〃	3.00
〃	組手間	〃	4.80
計			

備考1 本表には、20m程度の小運搬を含む。

2 材料のロス(端材等)は、5%を標準とする。

3 作業条件による歩掛の補正は、原則として次表による。

補正=イ+ロ+ハ

補正率 作業条件		+10%	0	-10%
		イ 法 勾 配	35° 以上	35° 未満
ロ 斜 面 長	15mを超える場合	0~15m	—	
ハ 作 業 量	—	0~500m <sup>2</sup>	500m <sup>2</sup> を超える場合	

~~4 止杭については、素材を取り扱うこととし丸太の先削り、皮剥加工は別途計上するものとする。~~

4 止杭の先削り加工は、人力杭打ちを含む。

10-17-200 木製土留工

杭間隔 0.9m 杭長 1.8m

表17.1 木製土留工施工歩掛

(10m当たり)

名 称	規 格 等	単 位	数 量
杭 丸 太	杭丸太 L=1.8m D=9cm 1.8m×0.09 <sup>2</sup> ×11.1本×1.05	m <sup>3</sup>	0.17
横 丸 太	横丸太 L=1.8m D=9cm 1.8m×0.09 <sup>2</sup> ×38.9本×1.05	〃	0.60
梁 木	梁 木 L=0.9m D=9cm 0.9m×0.09 <sup>2</sup> ×11.1本×1.05	〃	0.08
支 え 木	支え木 L=2.7m D=9cm 2.7m×0.09 <sup>2</sup> ×7.4本×1.05	〃	0.17
敷 丸 太	敷丸太 L=0.9m D=9cm 0.9m×0.09 <sup>2</sup> ×11.1本×1.05	〃	0.08
粗 朶	L=50cm D=1cm以上 2mものを4等分して使用	束	1.80
ボ ル ト	φ16mm L=0.22m 33.3本×0.65kg	kg	21.65
鉄 釘	L=15.2cm 7段×11.1本×23.8kg/1000本	〃	1.85
結 束 鉄 線	L=12cm #103.2mm 1.2m×11.1本×1.68kg/1000m	〃	0.45
<u>丸太皮剥加工</u>	<u>(1.8m×11.1本+1.8m×38.9本+0.9m×11.1本+2.7m×7.4本+0.9m×11.1本)×1.05</u>	<u>m<sup>3</sup></u>	<u>136.46</u>
普通作業員	杭打(根入率70%未満) 1.2人/10本×11.1本×0.7	人	0.93
〃	横丸太等設置 0.06人/1.8m×109.98m	〃	3.67
〃	ボルト穴あけ・締付 2.5人/100本×0.333	〃	0.83
〃	鉄釘打込 0.07人/10箇所×77.7箇所	〃	0.54
〃	鉄線結束 0.15人/10箇所×22.2箇所	〃	0.33
計			

備考1 本表には、20m程度の小運搬を含む。

- 2 材料のロス(端材等)は、5%を標準とする。
- 3 杭間隔・柵高・丸太規格等が異なる場合は、別途積算する。
- 4 作業条件による歩掛の補正は、原則として次表による。

補正=イ+ロ

		補正率		
		+10%	0	-10%
イ	法 勾 配	35° 以上	35° 未満	—
	ロ	作業延長	10m未満	10~30m

5 粗朶は、必要に応じて計上する。

~~6 杭丸太については、素材を取り扱うこととし丸太の先削り、皮剥加工は別途計上するものとする。~~

6 杭丸太の先削り加工は、人力杭打ちを含む。